

東胆振地域リハビリテーション推進会議活動報告

平成17年度活動の特徴から

東胆振地域リハビリテーション推進会議事務局

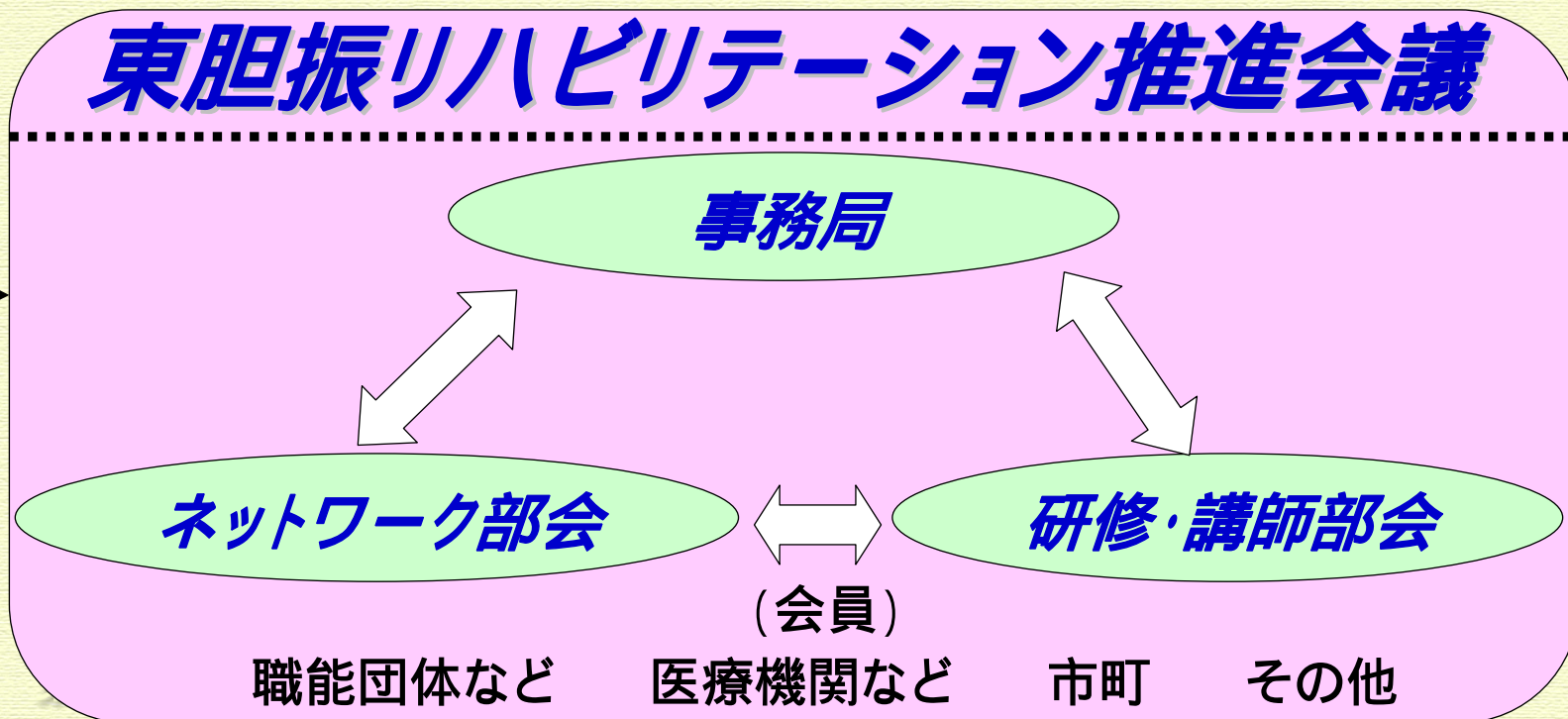
本間 啓介

東胆振地域リハビリテーション推進会議

東胆振リハビリテーション推進会議

保
健
所

支援
⇔
相談



事務局(6名を中心に)・・・苫小牧東病院 PT2名 OT1名 ST1名 MSW1名 介護支援専門員1名
(全スタッフ協力)

ネットワーク部会(10名)・・・医師1名 PT2名 OT2名 ST1名 MSW1名
介護支援専門員1名 行政2名(介護保険課・健康管理課)

研修・講師部会(9名)・・・PT4名 OT1名 ST1名 介護支援専門員1名 介護福祉士1名
施設1名(老健施設協議会)

東胆振地域リハビリテーション推進会議 会則

第8章 専門部会

(開催等)

第22条1. 本会の事業を推進するため、専門部会を設けることができる

2. 専門部会は必要に応じて開催する

3. 専門部会は理事会で指名した部会長及び委員で構成する

4. 専門部会の運営は、別に定めた専門部会の設置要領による

東胆振地域リハビリテーション推進会議 専門部会設置要領(2)

(検討事項)

第3条1. 部会の委員は10名以内とし、次の区分によって構成する。

- (1) 団体の所属会員
- (2) 協力医療機関の職員
- (3) 市町の職員
- (4) その他必要と認められるもの

2. 専門部会の任期は最長3年とし、部会目的達成時に解散する

3. 部会には理事会で指名した部会長のほか、委員の互選により、副会長を置く

4. 部会長は会の業務を統括する

5. 副部会長は部会長を補佐し、部会長に事故のあるときはその職務を代理する

6. 部会が検討する事項について、保健所に意見をきくことができる

東胆振地域リハビリテーション推進会議

平成17年度の活動

研修・講師部会 研修講演会

- 7月6日 会場: グランドホテルニュー王子3階「南の間」 共催 参加者: 304名
テーマ: 「半側空間無視～診断からリハビリテーションへ～」
講師: 札幌医科大学附属病院リハビリテーション部 部長 石合 純夫氏
- 11月30日 会場: 苫小牧市民会館 小ホール 共催 参加者: 114名
テーマ: 「地域リハに関する研究発表会」
発表: 5例
- 3月14日 会場: 苫小牧市民会館 小ホール 共催
テーマ: 「地域リハビリテーションの理念と実践」
～高齢者・障害者が安心して地域に住み続けるために～
講師: 兵庫県立リハビリテーションセンター・中央リハビリテーション病院
名誉院長 澤村 誠志氏

10月21日 会 場:古小牧市民会館 小ホール 主催 参加者:140名会
テーマ:「在宅生活の存続(継続)～自立支援に向けて～」
講 師:北海道総合在宅ケア事業団 機能訓練指導部長 岡田 しげひこ氏

2月8日 会 場:古小牧保健所 主催 参加者:105名
～9日 テーマ:「介護予防に関する実務者研修」

対象者:通所介護、通所リハ等サービス事業所の実務者

1日目 講 義:「つくられた歩行不能」を考える ～廃用症候群について～

東胆振地域リハビリテーション推進会議ネットワーク部会長 永倉 靖久氏

講 義:「つくられた歩行不能」を考える ～生活機能低下について～

東胆振地域リハビリテーション推進会議研修・講師部会長 芳賀 浩司氏

2日目

講義・実務:「介護予防に資するアクティビティとは」

講 師:有限会社 イズミック 主任研修員 上田 知行氏

研修・講演会における平成17年度の特徴 (1)

研修対象者の検討(主催)

介護職

研修機会の限られる機関

研修会開催後の効果について

資質向上につながっているか

その評価方法

イ) 参加者名簿から職種・地域の変更

ロ) アンケート内容の変更

研究発表会 アンケート (抜粋)

Q4 今回の研究発表会に参加して明日からの仕事に役立つと思われることはありましたか？

Q6 前回の講演会・研究発表会に参加した方で、実際の仕事に役立ったことはありますか？

第28回研究会、講演「半側空間無翅～診断からリハビリテーションへ～」について、実際の仕事に役立ったこと、参考になったことを具体的に書いてください

東胆振地域リハビリテーション推進会議

平成17年度の活動

講師バンク

登録状況

・医師 5名

・言語聴覚士 1名

・理学療法士 10名

・作業療法士 4名

計 20名

(平成16年度 15名)

東胆振地域リハビリテーション推進会議

平成17年度の活動

講師バンク

6月4日 苫小牧市在宅介護支援センター-連絡協議会 介護教室(P.T派遣)

2月8日 保健所との共同開催「地域ケアサービス事業者等技術育成講座

「つくられた歩行不能を考える～廃用症候群と介護予防について～」

(Dr、P.T派遣)

対象者:通所介護,通所リハビリテーション

認知症対応型共同生活介護

サービス事業書の担当職員

2月17日 福祉法人三施設合同研修会「介護予防」の職員研修(O.T派遣)

東胆振地域リハビリテーション推進会議 会則

第9章 協力医療機関等の責務

(講師登録等)

第23条1. 協力医療機関は、少くとも1名以上を本会のリハビリテーション講師バンクに登録するものとする。

2. 協力医療機関以外の会員も、リハビリテーション講師バンクに登録するよう努めるものとする

3. リハビリテーション講師バンクに登録したものに派遣要請があった場合は、できる限り協力するものとする

講師バンクにおける平成17年度の特徴 (2)

- ・ ホームページ上での講師並びに対応可能な講演項目の掲載 予定

- ・ 保健所研修事業への派遣

今後の市町村等の企画研修への講師派遣への系口か？

地域で支え合う

北海道生活習慣改善等 サポートシステム

当小牧
東病院当小牧
東病院当小牧
東病院当小牧
東病院当小牧
東病院当小牧
東病院当小牧
東病院当小牧
東病院

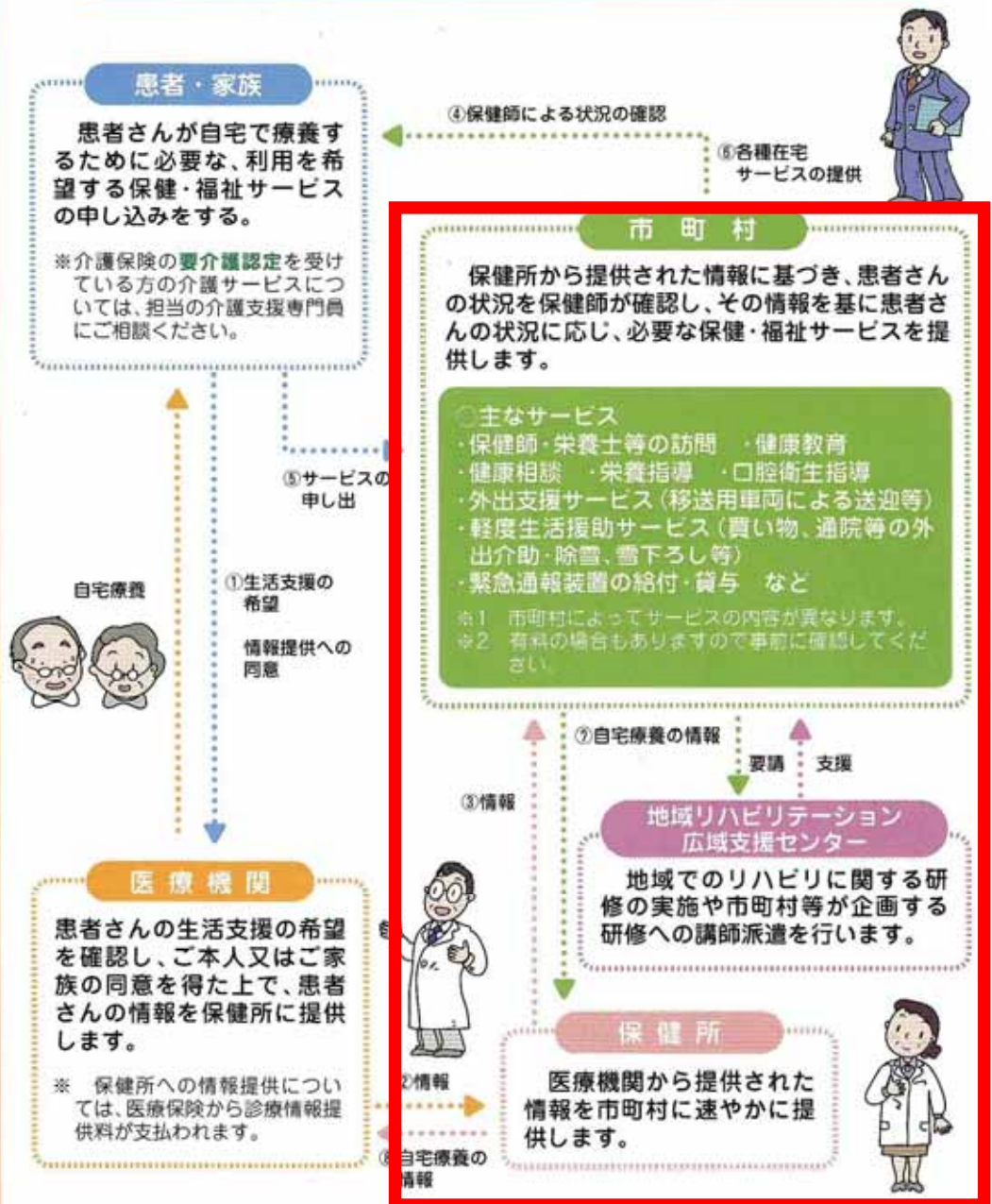
このシステムは、脳卒中等の再発防止と患者さんが自宅で閉じこもりがちとなり、生活機能が低下することや寝たきり状態になることを予防することを目的に、市町村、保健所と医療機関が共に患者さんの生活を支援するシステムです。

対象

- ・脳卒中中で治療している患者さんとその家族
- ・生活習慣の改善が必要な病気（糖尿病、高血圧、高脂血症、心疾患など）で治療している患者さんとその家族

当小牧
東病院当小牧
東病院

患者さんが在宅サービスを受けるまでの流れ



東胆振地域リハビリテーション推進会議

平成17年度の活動

ネットワーク部会

ホームページ

イ) リハビリテーションマップの更新対応中

ロ) Q&A形式での掲載の検討

事例検討会の実施 10月25日

東胆振地域リハビリテーション推進会議

平成17年度の活動

ネットワーク部会

地域懇談会

8月23日 苫小牧市

参加者：**介護保険課**、事務局、ネットワーク部会、保健所

テーマ「介護予防について」

11月17日 穂別町

参加者：**東胆振5町介護支援専門員連絡会議**、事務局、

ネットワーク部会、保健所

テーマ「地域リハビリについて」

ネットワーク部会における平成17年度の特徴 (3)

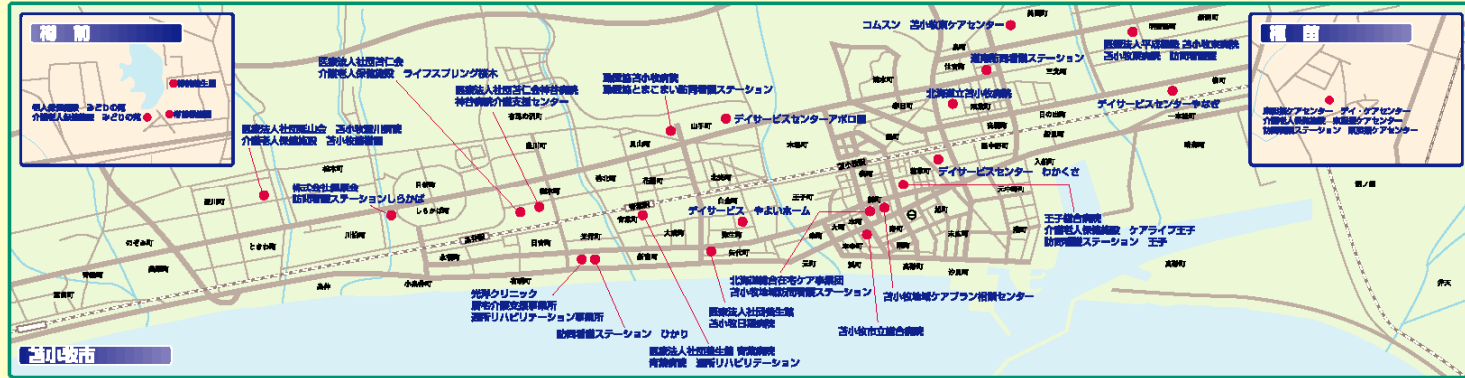
事例検討やホームページへのQ & A掲載の検討
など実践場面への対応への広がり

地域懇談会による意見・情報の交換や事業への
取込みと連携の足掛かり

地域包括支援センター運営協議会委員委嘱依頼

リハビリテーションマップ

病院・診療所、老人保健施設、訪問看護、
訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、通所介護



- 当小牧市**
- 個人事業主 せとむの苑 介護老人保健施設 (1) せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - デイサービスセンター 希望の丘 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - デイサービスセンター 希望の丘 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251

- 早来町**
- サックル介護福祉センター サックル TEL.0146-81-1678 FAX 09-8251
 - サックル介護福祉センター サックル TEL.0146-81-1678 FAX 09-8251
 - サックル介護福祉センター サックル TEL.0146-81-1678 FAX 09-8251
 - サックル介護福祉センター サックル TEL.0146-81-1678 FAX 09-8251
 - サックル介護福祉センター サックル TEL.0146-81-1678 FAX 09-8251
 - サックル介護福祉センター サックル TEL.0146-81-1678 FAX 09-8251
 - サックル介護福祉センター サックル TEL.0146-81-1678 FAX 09-8251
 - サックル介護福祉センター サックル TEL.0146-81-1678 FAX 09-8251
 - サックル介護福祉センター サックル TEL.0146-81-1678 FAX 09-8251
 - サックル介護福祉センター サックル TEL.0146-81-1678 FAX 09-8251

- 通分町**
- 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251

- 厚田町**
- 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251

- 瀬別町**
- 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251

- 豊川町**
- 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251
 - 介護老人保健施設 せとむの苑 TEL.0146-76-0001 FAX 09-8251

東胆振地域リハビリテーション推進会議
2008年9月改訂

【効果】

- ・施設、介護保険サービスのリハビリ内容が一覧できる
- ・リハビリサービスの選択が容易になる
- ・サービス間の交流が活発になる

老人保健施設

介護老人保健施設 ケアライフ王子

医療機関名	介護老人保健施設 ケアライフ王子			
所在地	〒053-8506 苫小牧市若草町3丁目4番8号			
TEL/FAX	TEL(0144)36-7111 FAX36-7070			
施設基準	介護保健施設サービス費(・) リハビリテーション機能強化加算(有) 痴呆専門棟加算(有)			
入所定員	総 数	100床	一般棟 60床	
	ショートステイ	5~6床	痴呆専門棟 40床	
スタッフ構成	医師	1名	PT 1.5名	
	支援相談員	2名 (内、社会福祉士 2名)	OT 1名	
	看護師	5名	ST 名	
	准看護師	6名	その他 3名	
	介護職員	33名 (内、介護福祉士30名) (介護支援専門員10名)	(職種: 管理栄養士、事務職員)	
リハビリの状況	実施状況:	(○)専門スタッフが全入所者について実施(集団体操・レク等)		
		(○)専門スタッフが条件付きで実施 (条件: 個別リハが必要な方、リハビリ希望者等)		
		(○)専門スタッフ以外の職員が実施 (担当職種:介護職員)		
		(内 容:集団体操)		
		()未実施		
		個別リハビリ時間 ・1人週 1~2回 30分 入所者の40名程度実施 集団リハビリ内容・特徴 ・週1回の頻度で、集団体操とレクを施行(午前)⇒能力等を考慮し、レベル分けをして曜日を決めて行っている(15~20名程度) ・一般棟、痴呆棟の曜日を替え、体操を施行(午後)⇒各週1~2回		
相談窓口	支援相談員			
入所までの流れ	相談(相談員)⇒本人・家族面接(訪問・来所)⇒入所前診察(月・木)⇒入所判定会議(木)⇒入所			
関連施設	王子総合病院 訪問看護ステーション王子 在宅介護支援センター王子 居宅介護支援事業所王子			



東胆振リハビリテーション推進会議

1 東胆振リハビリテーション推進会議とは?

2 活動内容・活動報告

- 研修講師部会
- ネットワーク部会
- 講師派遣(講師バンク)

リンク集はこちら!!

PRINT

リハビリの状況	実施状況:	(○)専門スタッフが全入所者について実施(集団体操・レク等)
		(○)専門スタッフが条件付きで実施
		(条件: 個別リハが必要な方、リハビリ希望者等)
		(○)専門スタッフ以外の職員が実施
		(担当職種:介護職員)
		(内 容:集団体操)
		()未実施
個別リハビリ時間 ・1人週 1~2回 30分 入所者の40名程度実施 集団リハビリ内容・特徴 ・週1回の頻度で、集団体操とレクを施行(午前)⇒能力等を考慮し、レベル分けをして曜日を決めて行っている(15~20名程度) ・一般棟、痴呆棟の曜日を変え、棒体操を施行(午後)⇒各週1~2回		
相談窓口	支援相談員	
入所までの流れ	相談(相談員)⇒本人・家族面接(訪問・来所)⇒入所前診察(月・木)⇒入所判定会議(木)⇒入所	

通所リハビリテーション

		青葉病院 通所リハビリセンター	東胆振ケアセンター デイケアセンター	光洋クリニック 通所リハビリテーション	
スタッフ構成	総数(名)	10		20	
	医師(名)	1		1	
	OT(名)		1	2	
	PT(名)	3	1		
	ST(名)		1		
	支援相談員(内、社会福祉士)			4(1)	
	看護師(名)	1	1	1	
	准看護師(名)			2	
	その他(名)	1			
	介護職員(内、介護福祉士)	4	9(3)	10(2)	
サービス提供地域	苫小牧市内	苫小牧市内	苫小牧市内		
サービス提供時間・曜日	月・火・水・木・金	月・火・水・木・金・土・日	月・火・水・木・金・土		
祝日	休み	営業	営業		
定員数(名)	20	40	通所リハ20名、3~4時間通所		
入浴介助	あり	あり	あり		
特別浴の対応	あり	なし	なし		
医療ケアの対応		胃ろう、インシュリン、人工肛門、褥そう在宅酸素対応可。その他は応相	胃ろう、インシュリン等の対応可		
特	主なタイムスケジュール	9:00 病院到着	9:15~ 到着・ミーティング・血圧測定	9:00~ バイタルチェック・集団リハ・個別リハ	
		9:20 体操	10:00~ 入浴・個別リハビリ 物理療	12:00~ 食事・休憩	
		9:30~ 入浴/リハビリ	12:00~ 昼食・休憩		
		12:00 食事・休憩	13:30~ 体操・踊りリハビリ	13:30~ 集団リハ・個別リハ	
		13:00~ 体操/リハビリ	14:00~ レクリエーション	15:10~ 送迎開始	
15:00 おやつ	15:30~ 送迎				
15:30 帰宅					
色・概	主な対象疾患		中枢神経疾患、整形疾患	脳血管疾患、神経難病など各種疾患	
	痴呆の受け入れ	あり	あり	あり	
要	年齢層	50歳代	1.70%		
		60歳代	10%	10.90%	18%
		70歳代	25%	25.10%	40%
		80歳代	60%	52%	40%
		90歳代	5%	10.20%	
		100歳代			
	要介護度	要支援	15%	19%	5%
		要介護1	30%	59.80%	45%
		要介護2	45%	13.80%	30%
		要介護3	10%	5.20%	15%
要介護4			2.30%	5%	
リハビリテーションの内容・特色	特色		PT・OTによる総合的な対応	パワーリハあり	
	個別加算	あり	あり	あり	
	個別プログラム	歩行訓練、マッサージ、温熱療法	歩行訓練、機能訓練、言語訓練、等	身体機能訓練、日常生活動作訓練、基本動作訓練、パワーリハビリテーション等	
	集団プログラム	レクリエーション、体操、カードゲーム、等	体操、踊りリハビリ、レクリエーション、手芸、等	レクリエーション、頭の体操、各種手芸、将棋、囲碁、等	

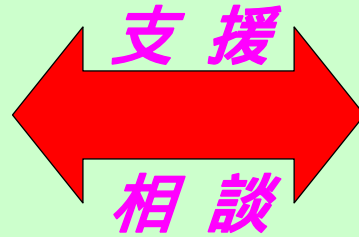
(東胆振地域リハビリテーションマップより抜粋 作成17年1月5日)

通所介護 サービス

		デイサービス やよいホーム	デイサービスセンター やなぎ	デイサービスセンター わかぐさ	
スタッフ	総数(名)	8	8	8	
	看護師(名)	1	1	1	
	准看護師(名)	1	2	1	
	生活相談員(内、社会福祉士 その他(名))	2	1	1(1)	
	介護職員(内、介護福祉士 その他(名))	4(2)	4(1)	5(2)	
	サービス提供地域	苫小牧市	苫小牧市内	苫小牧市全域	
サービス提供時間・曜日	月、火、水、木、金、土、日	月、火、水、木、金、土	月、火、水、木、金		
祝日	営業・単独型(6~8)	営業 併設型(4~6)	休み 単独型(6~8)		
定員数(名)	10	20	20		
入浴介助	あり	あり	あり		
特別浴の対応	なし	あり	なし		
特	主なタイムスケジュール	8:00 送迎~入浴~食事休憩 16:00 送迎	9:30 施設到着 10:15 アクティビティブ プログラム 12:00 食事・休憩 13:00 入浴 15:00 帰宅	9:00 施設到着 10:00~12:00 入浴 12:00~14:00 食事、休 憩 14:00~15:00 おやつ 16:00 帰宅	
		主な対象疾患	中枢神経疾患等		
色・概	痴呆の受け入れ	あり	あり	あり	
	年齢層	40歳代			1名
		50歳代			
		60歳代	16%		1名
		70歳代	22%	17.00%	10%
		80歳代	28%	70%	60%
		90歳代	34%	13.00%	30%
	要介護度	100歳代 自立			
		要支援		13%	40%
		要介護1	19%	60.00%	60%
要介護2		25%	16.00%		
要介護3		50%	9.00%		
要介護4		6%	2.00%	1名	
要介護5	要介護5	0%			
	特色				
	機能訓練加算		あり	あり あり	
	個別プログラム		歩行訓練、上腕運動、呼 吸運動、リズム打ち等		
集団プログラム		いきいき体操	レクリエーション、手芸、健 康体操、唄体操		

(東胆振地域リハビリテーションマップより抜粋 作成17年1月5日)

事務局会議



保健所

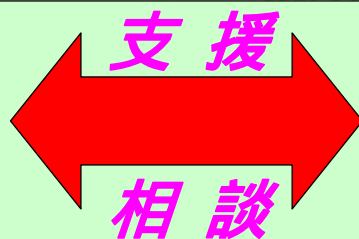
事務局長

- ・研修、講師部会担当
- ・ネットワーク部会担当
- ・苫小牧リハビリテーション研究会担当
- ・事務局担当

苫小牧東病院

職員

事務局会議



保健所

会議 月1回

内容 年度全体: 1カ月間の各部活動

事務局員

+ 保健所担当者職員

+ 地域包括支援センター

運営協議会委員



事務局 自分たちの活動・他の圏域での活動を知る

2月8日～9日 会場: 苫小牧保健所 主催 参加者: 105名

テーマ: 「介護予防に関する実務者研修」

対象者: 通所介護、通所リハ等サービス事業所の

実務者

<参加呼びかけ> 全部員・事務局

2月25・26日 地域リハビリテーション広域支援センター 代表者会議

北海道地域リハビリテーション研修会

<参加呼びかけ> 全理事・講師バンク登録者・
部員・事務局

事務局における平成17年度の特徴(4)

各部活動・事業が

『具体的な成果に結びつく為に』

を少し意識した展開

**お金だけではなく、人やシステムが知られ、
利用されなければもったいない！**

実践活動を行っているの問題点・課題

具体的にどこからどのような事をどのように行えば、地域のリハビリテーションの発展に繋げる有効な手立てとなるか？

事業をより活発に進める上で活動スタッフの負担軽減と運営方法の工夫が求められています

介護保険の対象を中心に進めているが、小児や精神、身障の分野とのかかわりをどの時期からどう進めていくか検討が必要です

補助金の終了後の活動資金の獲得方法と少ない予算で継続ができ、また継続する価値のある事業はなにか検討中です

(昨年の発表と同様)

